

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2010
課題番号：19530686
研究課題名（和文） 「身心の健康と教育」に関する基礎的・歴史的研究
— 「学校衛生」の展開を軸に
研究課題名（英文） Historical Research on Physical and Mental Health in Education
: Historical Development of “School Hygiene”
研究代表者
寺崎 弘昭（TERASAKI HIROAKI）
山梨大学・教育人間科学部・教授
研究者番号：60163911

研究代表者の専門分野：西洋教育史
科研費の分科・細目：教育学・教育学
キーワード：教育学・健康・衛生・学校

1. 研究計画の概要

本研究は、「身心の健康」への配慮を学校教育において定着させた「学校衛生」という概念と施策に着目し、日本における「学校衛生」とその思想の展開に関する歴史的な研究を軸にして、現代社会における「身心の健康と教育」のあり方を学校の役割を中心に見通そうとするものである。

そのために、遠く古代にまで遡る衛生（養生）思想の水脈を視野に収めながら、日本の「学校衛生」の特質を長期波動の衛生思想史のなかに位置づけ、イギリス・ドイツから移入された学校衛生論との比較を精細に行い、さらに台湾等旧植民地における「学校衛生」の適用の現在の実態をも明らかにする。このような「学校衛生」の思想と施策の歴史的展開に関する研究を遂行することによって、「身心の健康と教育」を捉えるための今日的視座を提示する。

2. 研究の進捗状況

当初の計画に沿って、以下の柱で研究作業を進行させた。

(1) 箕作麟祥・伊沢修二らの『学校管理法』等、および三島通良の学校衛生関連書の蒐集・整理を終えた。

(2) 日本における学校衛生論の展開とその特質を把握するために、学校衛生研究会『学校衛生』（明治 36～38）、および帝国学校衛生会『学校衛生』（大正 10～昭和 24）、大日本学校衛生協会『日本学校衛生』（大正 2～昭和 16）など、戦前日本の学校衛生を主導

した諸雑誌の蒐集に努め、雑誌目次をデータベース化し、重要記事のピックアップを行った。

(3) 西洋における学校衛生論・衛生思想史関連史料の蒐集と分析を行なった。特に、19世紀末から20世紀初頭に開催・刊行された国際学校衛生会議等の雑誌を蒐集することができ、その全目次をデータベース化した。

(4) 「学校衛生」成立の歴史的基盤を解明するために、ヨーロッパ衛生思想史研究を実施し、その成果として、論文「からだところといのちの概念史」をまとめ公刊した。

(5) 旧植民地（台湾）における学校衛生の適用のその後を探るべく、台北県立明志国中学ほか数校の現地調査を実施した。看護師資格を前提とした養護教諭の実態について精査できた。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）

当初の計画に沿って、それぞれの柱について、史資料蒐集とその整理を着実に実施してきた。その成果を踏まえ、次の最後の1年間で集中的に分析が進めば、新しい知見が得られる見込みが十分に立った。

4. 今後の研究の推進方策

当初の計画どおり、最終報告書のとりまとめに向けて、これまで蒐集・整理してき

た史資料の分析を飛躍的に集中して進める。
特に、日本と西洋の「学校衛生」雑誌分析
に焦点を合わせ進めることが肝要である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者
には下線)

〔雑誌論文〕 (計1件)

寺崎弘昭、からだところちのちの概念
史、山梨大学教育人間科学部紀要、第9巻、
236-246頁、2008年、査読無